



じゃがいものおうち通信

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

1999年7月13日

NO. 10

発行責任者 楯 篤雄 〒 891-4404 屋久町尾之間 658 - 1
TEL/FAX 09974-7-3032 mokkuri@d1.dion.ne.jp

屋久島ならではの通園事業を・・・

いや～今年の梅雨は、良く降りました。皆さんお元気ですか？ 長い長いとうしさの中、公私共々お忙しい毎日に奮闘しておられる姿が目に浮かびますが、本当にご苦労様です。

6月は気になっていた、小規模通園事業の動きが、ようやく1歩踏み出すことが出来ました。それぞれの関係窓口の方々と一同に会して話しをする場が持てたことは、たいへん良かったと思います。実感としてまだまだハドルが高く、急いで事を進めるより、その前に「療育ってなに？」と云うような、素朴なスタ-トラインから始まり「必要なんだ！！」と、もっと大きな声になるような活動が、私たちの役目だと思います。

これを機に**関係機関との連携しながら、屋久島ならではの通園事業を見つけたい**と思いました。(楯)

貴司が学校に来た

吉利 悠子

貴司が車椅子にのって私の学校に来ました。たかしが学校に来るのは、これで二回目です。

たかしは私の一つ上の兄で、6年生ですが、弟のような気がして、「たかし、たかし」と呼んでいます。

いつも家にいます。学校の先生が、週に三回来て一緒に遊んだり、本を読んで下さいます。たかしは自分でご飯を食べたり、歩いたりできません。おしゃべりもできませんが、私にはなんとなく言いたい事が分かります。この頃は、とても積極的になり、自分で立とう立とうとしています。

そんなたかしが、私達の学校に来たのです。一緒にお餅をついたり、給食を食べたりしました。

皆がいて、いつもとは違う感じの所に来て、たかしはとても嬉しそうでした。たかしが学校で給食を食べるのは初めてでした。一口食べては、ニコニコ笑いながら、はしゃいでいました。友だちはどうしてたかしが笑うのが不思議そうにみていました。後から、友だちもここにこしていました。

一回目の時は、わたしたちの授業を楽しそうに見ていました。初めてなので、4人だけのクラスですが、皆、自己紹介をしました。私もしました。

家でいつも一緒なのに、自己紹介をして少し恥ずかしかったです。母もあいさつをしました。母はすこし、なみだぐんでいました。後から聞くと、たかしが私達と並んで座っているのが、嬉しかったそうです。たかしは手と足をばたばたさせて喜んでいました。クラスの友だちにだきついていました。

たかしも、小学生の男の子の友だちがほしいのかもかもしれません。

私は、たかしが歩けるようになったらいいなと思います。一緒にお話もしてみたいです。そして、元気に学校にも一緒に行きたいです。



種子島手話サークル『たんぼぼ』との交流会

～ 6月12日(土) 尾之間にて～

大雨洪水警報が出た生憎の天気になりましたが、「たんぼぼ」の9人の皆さん(聴障害の方3人)と、「じゃがいものおうち」から17人が参加し、楽しく有意義な時を過ごしました。

玄関先に大きなビニールシートを張って、バーベキュー。まずは自己紹介。手話と解説付きです。「じゃがいものおうち」のメンバーは、事前に勉強してきている人。(大きな拍手)「松の葉の松、田んぼの田・・・」等教えてもらう人、それぞれです。普段出会っても頭を下げる位しかできない近所の聴障害の方も来られ、**話し合える人に会えた喜びの笑顔と話の尽きない様子が印象的**でした。

雨が一段と激しくなり、家の中に場所を移し、この雨を幸いに(明日の山登りは中止)12時過ぎ迄、賑やかに話(手話・身振り・手振り・言葉)が弾みました。語らいの間には「じゃがいものおうち」のテーマソング「いつまでも」の披露もありました。

聴障害の方達の身振り、手振り、表情の豊かさに驚かされました。**見る事、見せる事で解り合う文化**なのだと思います。聴者が手話を使う時は、同時にゆっくりはっきり言葉を発する大切さも教えてもらいました。(手話と一緒に口の動きも見ている。)

本当の意味での手話活動(聴障害の方と共に)をしている「たんぼぼ」と出会え、支え合うもう1つの形を覚えてもらった気がしました。

種子島にも是非来て下さいとのお願い、いつの日にか皆で訪ねてみたいですね。

(松田咲美)